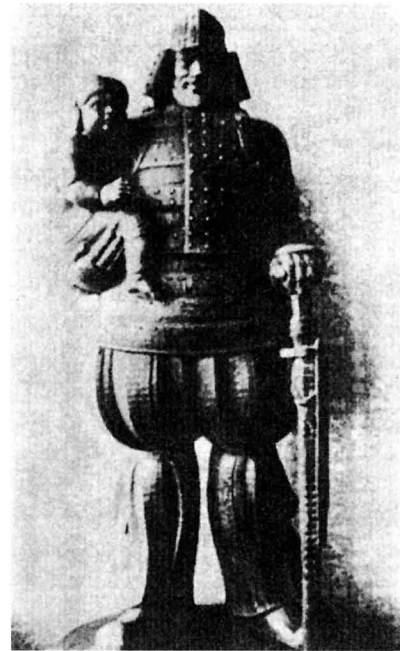


注1) 延鎮

注2) 京都の清水寺の仏像をほったときの  
残り木

注3) 大滝根山の達谷窟



坂上田村麻呂像

そのころ（9世紀）の住居あとの遺跡は、三春町内においても、数多く発見されています。

（発見された遺跡名）

大字西方地内	西方前遺跡・浮貝遺跡
大字貝山地内	前ノ久保遺跡
大字根本地内	四合内B遺跡・光谷遺跡
大字蛇石地内	越田和遺跡・蛇石前遺跡
大字芹ヶ沢地内	深作A遺跡・深作B遺跡・背上A遺跡

これらの遺跡にある住居あとは、竪穴住居あとで、大きさは4～6メートル四方くらいです。川の近くだけとはかぎらず、かなり小さな沢の奥でも、竪穴住居あとは発見されています。また同じ時期の建物には、掘立柱建物跡（ほったてばしらたてもの）も上記遺跡などから発見されています。